

輝く栗東人

12年間、小・中学生の登校を見守りながら安全指導



山本 登志一さん (74歳・笠川)

平成16年4月から毎朝、花園交差点で大宝小学校児童・栗東西中学校生徒の登校を見守りながら、安全指導。地域と西中生徒がともに道路を安全で安心して使うための協議にも尽力し、平成27年度栗東市青少年育成功労賞、平成28年度栗東市政功労者表彰を受賞。

草津・栗東交通安全協会メンバー、草津警察署委嘱の子ども安全リーダー・地域交通安全活動推進委員としても活躍中。

■見守りを始めたきっかけは？

仕事で海外勤務が長く、発展途上国では、貧しさから、保険金目当てにわざと子どもに交通事故でケガをさせるような悲惨な光景も見てきました。このことから、現地で子どもたちへの交通安全指導にも取り組んできました。定年後、草津・栗東交通安全協会に加入しましたが、自主的にも何か活動ができたらと、通学時の子どもたちの見守りを始めました。

■見守りの内容は？

毎朝、7時30分から8時30分までの1時間、花園交差点に立つようになり、12年になります。8時までは大宝小学校の児童、8時から栗東西中学校の生徒が通学

路として使います。中学生は約400人がここを自転車で通ります。毎日見ているから、子どもたちの体調などの少しの変化にも気付くことができます。子どもたちが元気にすくすくと育ってくれることを願いながら、家庭や学校とも連携し、安心して楽しく学校に行けるように見守っています。

■より安全な道路使用のためにも取り組まれました

通学路は地域の生活道路でもありますが、道路いっぱいには広がった自転車通学など、マナーの悪さが目立ちました。このことから、平成25年、笠川自治会と栗東西中学校の生徒会とで懇談をし、地域の交通安全に対する思いや現状を生徒に知っ

てもらいました。話し合いを重ね、生徒との会話から改善点を探り、関連機関の協力も得て、通学路に青ラインを引くことや、カーブミラーの大型化、点滅信号の押しボタン位置の変更などで、より安全に通学できるように改善に取り組みました。中学校でも、マナーの向上やあいさつ運動に取り組んでいただき、いっそう安全な通学路・生活道路になりました。毎年、自治会と中学校で懇談し、入学式には、新1年生に対して、交通安全の呼びかけもしています。

顔を覚えてもらい、子どもたちと信頼関係を築くことが大切だと考え、交通安全教室の開催などもし、安全対策に努めてきました。交通事故が地域で起こらないよう、これからも頑張りたいです。



元気に「行ってらっしゃい！」

555 Reliable Quality for Tomorrow
三恵工業株式会社

1960年創業以来、主に自動車用補修部品(特にサスペンション、ステアリング系部品)の部品メーカーとして国内を始め、多くの海外のお客様にも長くご愛顧頂いております。

〒520-3045 滋賀県栗東市高野 305
tel.077-553-0555 fax.077-553-2408
http://www.sankei-555.co.jp/jp/
BBCにてCM放映中

大宝東小学校区
GREEN PARK
蜂屋3期 全22区画

自転車で JR 栗東駅まで約10分
来春分譲開始!!

新築/リフォーム/仲介/賃貸/土地買取
西和不動産販売(株)
栗東市上鉤 459-7 TEL. 0120-477-210

広告欄 有料広告掲載のお申込み・お問合せは 広報課 ☎551-0641 ☎554-1123へ(掲載料金:本文最終ページ:1枠30,000円) 掲載内容のお問合せは、直接広告主へ。内容に関する一切の責任は広告主に帰属し、市が推奨するものではありません。